

---

# 端末世界～デュエルターミナル～

楓

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

端末世界〜デュエルターミナル〜

### 【Nコード】

N6785Y

### 【作者名】

楓

### 【あらすじ】

気が付くと自分は元の世界で言うデュエルターミナルの世界にいた。そこで宇宙からの侵略者ワームに対抗すべく戦うのだが・・・

## 第一話 端末世界（前書き）

処女作です

作者の知識がゴミ以下なので稚拙な文になると思いますので指摘等  
宜しくお願いします。

## 第一話 端末世界

視点：；???

目を開けた俺の目の前には知らない天井

………知らない天井？ エヴァかよ？

「って此処はどこよ!？」

「目が覚めたか？」

目の前には赤髪の少女と肩に尻尾に火が灯っている・・・狐？

「森の中に倒れていて、此処まで連れてくるのが大変だったぞ？」

「どうやら俺は、森で倒れていてこの赤髪少女（仮）に助けってもらったらしい。」

俺自身、森なんかには普通いかなんだが、どうして倒れていたんだだか。

「ああそれは大変助かった。」

「ところで此処はどこだ？」

「まず此処は見慣れない土地だし、まずは自分の状況確認からだ。」

「？此処はターミナルワールド《端末世界》の北の炎属性の都市スカーレットだよ？」

「ターミナルワールド？なんだそこは？」

「炎属性の都市スカーレット？」

「あまりにも情報が少なすぎて意味が分からんな。」

「すまないがこの家に地図とかはないのか？」  
とりあえずこの大陸のことを知っておかないと

「ん？あるけど、どうしているんだ？」

「この辺の地域にはあんまり詳しくなくてな」

「わかったよ、地図を取ってくるからちよつとまっつててくれ」

???

視点：赤髪少女（仮）

なんなのよあの少年というか青年は？

きつね火との特訓のために森の最深部に行ったら人が倒れてて・  
それもなんの武器も付けていない人だよ？

私は 3程度 of 能力しかもってないけど、きつね火と憑依装着しな  
いと辿り着けない、そんな場所。

しかも偶に現れるこの辺の最強モンスター、

溶岩魔神ラヴァ・ゴーレムが現れるかもしれないところに倒れてる  
から最初は死んでるのかと思ったよ？  
だつて、ずっと動  
かなかつたんだもん。

でもちゃんと脈はあったから連れてきたんだ。それに彼のものであ  
ろう、近くにあった奇妙な機械とそれに刺さったままの紙束も一緒  
にもつてきたんだ・・・それでもなんだろう？あの奇妙な機械は  
？私は、人のものを勝手に使うほど非常識じゃないから見ないでお  
いといったけど・・・。

あ、そういえば名前聞くの忘れてた。あとで聞こうつと。

????

視点：???

なんか長い考え事してたみたいだけど、終わったみたいだな。そうすると地図を見つけたのか俺の近くに寄ってきた。

「はい、これが炎属性の都市スカーレットの地図だよ。」

そう言つて渡されたのが長方形の地図だった。でもなんか北の海の方がなんか黒い……何故だ？

「すまない、この黒い部分はなんなんだ？」

俺は北の黒い部分に指を指した

「えっとね、そこは元々スカーレットの土地だったんだけど、ワームっていう軍団が空からやってきて、

今は多分ワームの拠点となっているはず。

ワームっていうのはとにかく数が多くて……数の利で土地を奪ってきたの」

なんだか悲しそうに言ったな、やっぱりその辺に住んでいた同族が殺されたからかな？

ちなみにスカーレットの土地は、北が海、東が森、南が風属性の谷間っていう場所で西が山岳地帯になっている。

……北のほとんどが真っ黒くなっている。

この家は森に近くて……黒色の部分にも近い……。なんか怖いな。

「そういえばあなたが倒れてる所の近くに、変な機械と紙があった

よ？」

そういつて渡されたのはデュエルディスクらしき物と遊戯王のカード  
やっぱり此処は遊戯王の世界か……。

「ああありがとう。」

とりあえずカードを調べてみる……

中であつたカードは魔法カードと罾カードだけだ。

その光景を赤髪少女（仮）がなにになにといった顔で見ってくる。

「なんなのその紙は？」

「ちよつとまてよ……」

俺はデュエルディスクに魔法カード氷結界の紋章を置いてみる。

すると「ぼわあ」って音というか光で氷結界の紋章が現れた。

このデュエルディスク玩具かと思つたけど本物のようだ。

「なんか興味深いものだな」

赤髪少女（仮）が言った。

オジサン（？）かよ。

「そーだ、ところで君の名前は？」

さすがに赤髪少女（仮）はいけないと思つて聞いてみた。

「俺の名前は火霊使いヒータ

こいつが相棒のきつね火、君の名前は？」

待つてましたって口調で言つてくれた。

そんな待つてたのか？

「俺の名前は霞桜紅葉かきんこうようだ宜しく」

俺は右手を差し出す。

「変わった名前だね・・・宜しく」  
やっぱりカードっぽい名前(？)じゃないとおかしいか

「……ワッフームの集団が襲ってきたぞー」「」  
手を握った直後だった、三人くらいの人(？)の声でした。  
なんていうんだ

「……いかないと・・・紅葉も来る？」  
俺は怖いけど小さく頷いた。

続く

## 第一話 端末世界（後書き）

第一話はただの前書きですね。

つぎはワームの侵攻（DT2）ですね。  
でわっ

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n6785y/>

---

端末世界～デュエルターミナル～

2011年11月20日18時27分発行